

記載例

様式第3

一般粉じん発生施設設置(使用、変更)届出書

不要なものを削除する

年 月 日

提出先に応じて記載

徳 島 県 知 事 殿
(南部・西部) 総合県民局長

個人の場合は個人名を記入
法人の場合は法人名並びに代表者の氏名を記入
代表者でない場合は委任状が必要

〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番地
届出者 株式会社〇〇
代表取締役 〇〇〇〇

大気汚染防止法第18条第1項(第18条第3項、第18条の2第1項)の規定により、一般粉じん発生施設について、次のとおり届け出ます。

不要なものを削除する

工場又は事業場の名称	株式会社〇〇	※整理番号	
工場又は事業場の所在地	〇〇市〇〇町〇〇丁目 〇〇番地	※受理年月日	年 月 日
一般粉じん発生施設の種類	2項 土石の堆積場 No. 1	施行令別表第2に掲げる項番号及び名称、施設番号	
一般粉じん発生施設の構造並びに使用及び管理の方法	別紙1から別紙4のとおり。	※審査結果	
		※備考	

備考 1 一般粉じん発生施設の種類の欄には、大気汚染防止法施行令別表第2に掲げる項番号及び名称を記載すること。

2 ※印の欄には、記載しないこと。

3 変更の届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。

4 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格A4とすること。

ここを確認し施設にあった別紙を使用すること。

一般粉じん発生施設(コークス炉)の構造並びに使用及び管理の方法

工場又は事業場における施設番号		No. 1	→施設に適時一連番号を与え記入する。
名称及び型式		〇〇製 コップース式	→製造会社名、型式を記入する。
設置年月日		年 月 日	→変更届、使用届の場合に記入する。
着手予定年月日		平成16年 10月 10日	→粉じん発生施設に係る関係工事（基礎工事を含む）に着手する日
使用開始予定年月日		平成16年 11月 10日	→実稼働を行う日
規模	原料の処理能力(t／日)	4,000t／日	→1日当たりの処理量を記入する。
	炉室数	100	
	炭化時間(h)	14h	
装炭作業	一般粉じんの処理装置の種類・型式	〇〇社製湿式スクラバー〇〇型	→処理装置の全てを記入する。
	集じん機効率(%)	95%	
	送風機の原動機出力(kW)	100kW	
窯出し作業	一般粉じんの処理装置の種類・型式	〇〇社製集じんフード〇〇型	→処理装置の全てを記入する。
	集じん機効率(%)	97%	
	送風機の原動機出力(kW)	100kW	
消火作業	一般粉じんの処理装置の種類・型式	消火塔、消火車	→処理装置の全てを記入する。
参考事項	ガイド車の走行炉床強度－安全強度以上（保証書等添付） ガイド車の軌条幅員－2.5 m		

- 備考 1 設置届出の場合には着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。
- 2 参考事項の欄には、ガイド車の走行する炉床の強度、ガイド車の軌条の幅員等について記載すること。
- 3 一般粉じん発生施設及び一般粉じんの処理又は防止のための装置(フードを含む。)の構造とその主要寸法を記入した概要図を添付すること。

← ここを確認し施設にあった別紙をしようすること。
一般粉じん発生施設(堆積場)の構造並びに使用及び管理の方法

工場又は事業場における施設番号		No. 1	→施設番号は堆積場ごとに付ける。 (例) 製品堆積場、表土堆積場、 ズリ堆積場
名称及び型式		製品堆積場	
設置年月日		年 月 日	
着手予定年月日		平成16年 10月 10日	→粉じん発生施設に係る関係工事（基礎工 事を含む。）に着手する日 →実稼働を行う日
使用開始予定年月日		平成16年 11月 10日	
規模	面積(m ²)	1,260m ²	→土砂等を堆積していない部分であって堆 積場として使用する可能性があるものは 面積として加えて記入する。
	堆積能力(t)	6,000t	
堆積物の種類、性状及び通常の年間延べ堆積量(t/年)		φ 300mm 比重2.3 砂岩 水分15% 15,000t/年	→実際の堆積量、定格能力ではない。
使用 及 び 管 理 の 方 法	堆積場がその中に設置されている建築物の概要		スレート建屋
	散水	装置の種類・型式・基数	2基 スプリンクラー NT-6
		装置の能力(m ³ /h)	30m ³ /h
		散水の方法	シャワー式 適時
	防じんカバーの設置状況		なし
	薬液散布	薬液の種類・名称	なし
		装置の種類・型式・基数	
		装置の能力(m ³ /h)	
		散布の方法	
	締固め	装置の種類・型式	なし
		方法	
	その他	方法	なし

- 備考 1 設置届出の場合には着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。
- 2 堆積物の種類、性状及び通常の年間延べ堆積量の欄には比重、粒度、水分値の概数及び通常の年間延べ堆積量について記載すること。
- 3 散水の方法、薬液散布の方法、締固めの方法及びその他の方法の欄には、実施の量(たとえば散水の場合は水量l/t)、実施頻度等を記載すること。
- 4 その他の欄には、散水等と同等以上の効果を有する措置について記載すること。
- 5 一般粉じん発生施設及び一般粉じんの飛散防止のための装置の構造とその主要寸法を記入した概要図を添付すること。

←ここを確認し施設にあった別紙を使用すること。
一般粉じん発生施設(コンベア)の構造並びに使用及び管理の方法

工場又は事業場における施設番号		No. 1	→施設に適時一連番号を与え記入する。	
名称及び型式		ベルコン T-6 1	→粉じん発生施設の種類及び型式を記入する。	
設置年月日		年 月 日	→変更届、使用届の場合に記入する。	
着手予定年月日		平成16 年 10月 10日	→粉じん発生施設に係る関係工事（基礎工事を含む。）に着手する日	
使用開始予定年月日		平成16 年 11月 10日	→実稼働を行う日	
規 模	ベルト幅 (cm) 又はバケツト内容積 (m ³)	80cm		
	単基の長さ (m) × 基数	15m × 1		
	ベルト又はバケツトの速度 (m/分)	240m/分		
	運搬能力 (t/h)	40t/h	→定格能力で記入	
運搬物の種類、性状及び通常の月間運搬量 (t/月)		砂岩 2,000t/月		
使 用 及 び 機 管 理 の 方 法	コンベアがその中に設置されている建築物の概要		スレート建屋	
	集じん機	集じん機の種類・型式	マルノウチ製 600c	
		集じん機効率 (%)	80%	→定格能力で記入
		送風機の原動機出力 (kW)	7.5kW	→定格能力で記入
	散水	装置の種類・型式	黒パイプによるシャワー	
		装置の能力 (m ³ /h)	6m ³ /h	→定格能力で記入（「工場内の施設等の配置図」の中に散水位置を明記する。）
		運搬量当たり散水量 (l/t)	150l/t	
	防じんカバーの設置状況	あり		
その他	方 法	なし		

- 備考 1 設置届出の場合には着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。
- 2 その他の欄には、散水等と同等以上の効果を有する措置について記載すること。
- 3 一般粉じん発生施設及び一般粉じんの処理又は防止のための装置(フードを含む。)の構造とその主要寸法を記入した概要図を添付すること。

← 該当しない項目を抹消する（例は破砕機である。）
一般粉じん発生施設(破砕機、~~摩砕機、ふるい~~)の構造並びに使用及び管理の方法

工場又は事業場における施設番号		No. 1		→施設に適時一連番号を与え記入する。	
名称及び型式		イノ製 コンクラッシャー S-1		→粉じん発生施設の種類及び型式を記入する。	
設置年月日		年 月 日		→変更届、使用届の場合に記入する。	
着手予定年月日		平成16 年 10月 10日		→粉じん発生施設に係る関係工事（基礎工事を含む。）に着手する日	
使用開始予定年月日		平成16 年 11月 10日		→実稼働を行う日	
規 模	原 動 機 の 定 格 出 力(kW)		75kW	→定格出力が「HP」、「PS」と馬力表示されている場合1HP、1PS=0.746kWとして換算し、実際に処理する量でなく施設の定格能力で記入	
	処 理 能 力(t/h)		40t/h	→実際に処理する量でなく施設の定格能力で記入	
処理対象物の種類及び通常の月間処理量(通常) (t/月)			砂岩 2,000t/月	→月間処理量については、実際処理する量で記入、定格能力ではない。	
使 用 及 び 管 理 の 方 法	破砕機、摩砕機又はふるいがその中に設置されている建築物の概要		スレート建屋		
	集 じん 機	集 じ ん 機 の 種 類 ・ 型 式		イデ [®] 式 600FK	
		集 じ ん 機 効 率(%)		80%	→定格能力で記入
		送 風 機 の 原 動 機 出 力(kW)		10kW	→定格能力で記入
	散 水	装 置 の 種 類 ・ 型 式		ダイイチ型 200	
		装 置 の 能 力(m ³ /h)		10m ³ /h	→定格能力で記入（「工場内の施設等の配置図」の中に散水位置を明記する。）
処 理 量 当 たり 散 水 量(l/t)		250l/t			
法	防 じ ん カ バ ー の 設 置 状 況		な し		
	そ の 他	方 法			

- 備考 1 設置届出の場合には着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。
- 2 その他の欄には、散水等と同等以上の効果を有する措置について記載すること。
- 3 一般粉じん発生施設及び一般粉じんの処理又は防止のための装置(フードを含む。)の構造とその主要寸法を記入した概要図を添付すること。

粉じん発生施設設置（使用→変更）届出書添付書類

該当しない項目を抹消する（例は設置届出である。）

1 粉じん発生施設の構造と概要	別紙
2 粉じんを処理し、又は粉じんの飛散を防止するための施設の構造と概要図	別紙
3 粉じん発生施設の配置図	別紙
4 粉じんを処理し、又は粉じんの飛散を防止するための施設の配置図	別紙
5 粉じんの発生及び粉じんの処理に係る操業の系統の概要を説明する書類	別紙
6 連絡用の電話番号及び連絡方法	088-621-2274

- 備考 1 粉じんの発生施設などの概要図には、主要寸法を記入すること。
- 2 粉じん発生施設などの配置図には、工場または、事業場内における配置を図示し、工場又は事業場の附近見取図も添付すること。
- 3 粉じんの発生及び粉じんの処理に係る操業の系統の概要は、順を追って略図で示すこと。
- 4 各項の説明に用いる別紙については、各自、日本産業規格A4の大きさに整えて添付すること。